



宮代町郷土資料館だより

# えんがわ

第22号

## 特別展 鎌倉・室町時代の宮代町

11月3日から12月2日まで当館において、特別展「鎌倉・室町時代の宮代町」を開催しました。

宮代町の一带は旧石器時代以来人々が生活していましたが、ことに中世、鎌倉時代から戦国時代の当町の歴史については、西光院の古文書や当時の供養塔である板碑、鎌倉街道の伝承などによってわずかに知ることができるに過ぎませんでした。



しかし近年、発掘調査をはじめとする諸調査によって、平安時代から鎌倉時代に造られた地蔵院阿弥陀如来像が発見され、また15世紀から16世紀頃の館跡やそれに伴う遺物の発見などから、しだいに当時の様子が明らかとなってきました。

この特別展では先述の地蔵院阿弥陀如来像や、東京国立博物館に所蔵されている光福寺（西光院）の銘の記された笈岳出土経筒、鎌倉公方足利氏・小田原北条氏の文書をはじめ、町内外の貴重な資料を関係各位のご協力をいただき展示しました。

特別展に伴い、11月17日（土）に展示説明会を当館学芸員によって行い、翌18日に講演会「鎌倉・室町時代の宮代町周辺」を目白大学教授の有元修一氏を講師に迎えて開催しました。

また、クイズを実施して、回答された来館者にはパンフレットをプレゼントしました。クイズの最後に特別展の感想を書いていただく欄があり、貴重なご意見を賜りました。今後の参考とさせていただきます。

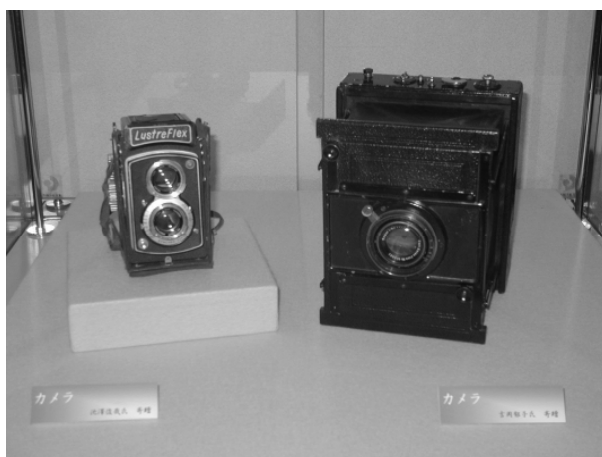
# 企画展 カメラが語る宮代町

12月3日より開催している企画展は、「カメラが語る宮代町」と題して、町内の風景をとらえた懐かしい写真を展示しています。

宮代町に残された、大切な思い出の記録であるこれらの写真は、歴史を学ぶ上でも貴重な資料です。



展 示 風 景



寄贈されたカメラ

資料館は50年後、100年後の未来の人達に宮代の歴史を伝えて行くために、こうした写真を保管しています。郷土の歴史について考えながら、同時に「今」の宮代を見つめるためにも今回の展示を是非ご覧になって下さい。

## 巡回展 埼葛のまつり・行事



篠津の天王様  
(白岡町)

高富のあられまき  
(吉川市)

埼葛地区は、埼玉県の東部低地を中心に南北に広がる地域で、多くの河川が流れ込み県内でも随一の穀倉地帯です。その反面、氾濫に悩まされた土地柄でもありました。そうした歴史的背

景は暮らしに様々な影響をもたらし、独特の民俗文化を育てて来ました。

この巡回展は埼葛地区文化財担当者が調査した埼葛地区のまつり・行事について紹介したもので、9月11日から10月21日まで開催しました。

各市町から集まった5,500件以上のデータは、既に報告書として刊行され、この展示では各市町のまつり・行事の概観や埼葛地区の特徴を示すまつり・行事について、写真を用いて紹介しました。

長い年月を経て先人から伝えられたこれらの貴重な民俗文化も、高度成長期以降の急速な生活様式の変化により次第に姿を変えつつありますが、郷土の伝統文化を大切にし、そのすばらしさを再認識することも必要な事だと思えます。

# わら細工教室

10月21日、旧加藤家住宅の土間においてわら細工教室を開催しました。

講師は町内在住の伊草 進さんで、先生の指導を受けながらわらぞうりを作りました。

慣れない作業の為に約3時間という限られたなかで、1足仕上げるのは



先生の指導を受けながら…



作業風景

大変で参加者のほとんどが半分作るのので精一杯でした。

残った分は持ち帰って、先生から教えていただいた事やこの日の体験を思い出しながら、各自が家で作業することとなりました。

# 古文書講座

宮代町内で発見された古文書を解読していく、古文書講座を今年も開催しました。11月3日、10日、17日、24日の計4回で、いずれも土曜日の午後2時から午後3時30分まで行いました。



講座風景 1



講座風景 2

講師は当町の町史編集委員の林 貴史先生で、先生の解説に参加者全員が熱心に耳をかたむけていました。

## 宮代のお正月（大正月）

### 《 年 神 様 》

▼大正月は元旦を中心として行われ、年神様を迎えてまつる行事が多い事が特徴です。▼年神様は正月だけ祭られる神様で、神様が来る時期は大晦日や元旦の朝、帰るのは1月の卯の日・卯の刻、14日など、様々な言い伝えがあります。▼町内では、古くは年神棚を設けて年神様をまつりましたが、現在では床の間や大神宮様と一緒にまつる家庭が多いようです。▼家の主や跡取りが年男となって、元日の朝に初湯に入って身を清めてから雑煮を作って供えました。▼その他に松の枝も供えましたが、これは11日の鎌入れに使いました。▼年神様は家を守り、幸福をもたらす神として、また年神様の「年」は穀物の実りを意味する「稔」に通じることから豊作の神様として信じられてきました。

### 《 正 月 の 餅 》

▼お正月の食べ物やお供え物と言ったら、真っ先に思い浮かぶのがお餅です。▼毎年12月25日過ぎになると鏡餅や雑煮に入れる餅、その他にあられやかき餅にする餅をつきます。▼昔は1俵（60kg）から多い家では3俵もつきました。そのため、午前2時頃から餅米をふかし始め、家族総出で近所も手伝い餅をつきました。▼12月29日につく「クンチモチ（九日餅）」、また12月31日につく「イチヤモチ（一夜餅）」を嫌うところが多く見られます。▼餅は正月以外にも、初誕生（1歳の誕生日）など人生の節目を祝うために用いられることが多く、生命に力を与える霊力のある食べ物と考えられていました。

### 《 お 供 え （ 鏡 餅 ） 》

▼お供えは半紙にのせ、年神様や家の神様、仏様にえます。一般的には大神宮様・荒神様・恵比寿様・井戸神様・仏様・俵神様・屋敷神様などにお供えします。▼お供え用の餅は3臼目、5臼目につく家が多いようです。1臼目だと臼が冷えていて上手につきあがらないためです。

## 資料館寄贈者名簿

下記の皆様から歴史や文化に対する資料をご提供いただきました。厚く御礼を申し上げます。

中島清子 氏	花嫁衣裳（白垢）
関根はな 氏	ゲタ（よそゆきゲタ） 手ぬぐい（「明治・大正・昭和・平成 米価年代暦」柄）
森山 清 氏	ベーゴマ・ヨーヨー

## 資料館日誌抄

《平成13年11／1日～平成13年12／31》

- 11. 3 特別展「鎌倉・室町時代の宮代町」  
(～12月2日)
- 11. 3 古文書講座（第1回）
- 11. 10 古文書講座（第2回）
- 11. 14 季節展示 恵比寿講（～11月22日）
- 11. 17 特別展 展示説明会  
古文書講座（第3回）
- 11. 18 特別展 講演会  
「鎌倉・室町時代の宮代町周辺」
- 11. 22 町史編集委員会議
- 11. 24 古文書講座（第4回）
- 12. 3 企画展「カメラが語る宮代町」（～3月31日）
- 12. 16 文化財保護委員会
- 12. 19 季節展示 正月（～1月9日）
- 12. 22 冬至の火渡り見学ツアー

宮代町郷土資料館だより えんがわ 第22号

発行日 平成14年1月1日

発行 宮代町郷土資料館

郵便番号 345-0817

住所 埼玉県南埼玉郡宮代町字西原289番地

電話番号 0480-34-8882

HP <http://www1.sphere.ne.jp/miyasiro>

/musiam/top.html